

# 健康影響評価とエコトピア指標の構築

21世紀が目指すべき理想の社会は、単に物質的に豊かであるだけではなく、安全と安心が確保され、環境と調和した持続可能なものでなければならない、とする考えが定着してきています。このような理想的な社会を作るためには、自然環境や社会環境が人間の生活に及ぼす様々な影響を的確に評価し、また科学・技術の持つ真の有効性を正しく評価することが非常に重要となります。加えてその評価の結果を分かりやすく表し、人々に伝えることのできる「指標」作りも重要な課題の一つです。特にエコトピア科学研究所では、将来の社会の理想像をエコトピアと呼び、その実現度や貢献度を評価するための新たな指標（エコトピア指標）構築を目指し、プロジェクト研究を進めています。この研究では、エコトピアとして期待される豊かさの評価項目として経済・社会・健康・心理の各項目をいかに取り込んでいくか、ということが大きな課題となっています。

本シンポジウムでは、このような観点から、いくつかの影響評価手法についての理解を深め、またよりよい評価指標の構築に向けての課題を考えることを目的とします。まず影響評価の代表として、健康影響評価を取り上げ、その概念、理論、方法と具体的な応用事例について紹介してもらうとともに、今後の展望について報告していただきます。さらに関連するいくつかの評価と指標の課題として、環境汚染除去技術と関連指標、幸福度指標と健康、持続可能性指標、エコトピア指標などを取り上げ、その現状と課題について報告していただき、よりよい評価・指標構築の方向性を議論します。

## プログラム

- 10:00-10:10 開会挨拶  
松井恒雄教授（名古屋大学エコトピア科学研究所・所長）
- 10:10-10:30 シンポジウムのねらい  
近藤克則教授（日本福祉大学大学院社会福祉学研究科）
- 10:30-11:45 健康の社会的決定要因と健康影響評価(日本語の解説あり)  
Kawachi Ichiro教授（ハーバード大学公衆衛生大学院）
- 11:45-13:00 健康影響評価(日本語の解説あり)  
Ben Cave（Ben Cave Associates 代表、クイーンメリー大学客員研究員）
- 昼食（13:00-14:00）
- 14:00-14:30 日本における健康影響評価の展望  
藤野善久准教授（産業医科大学医学部公衆衛生学教室）
- 14:30-15:00 環境浄化技術と評価指標レスキューナンバー  
片山新太教授（名古屋大学エコトピア科学研究所）
- 15:00-15:30 持続可能性指標  
金子慎治准教授（広島大学大学院国際協力研究科）
- 休憩（15分）
- 15:45-16:15 エコトピア指標  
林希一郎教授（名古屋大学エコトピア科学研究所）
- 16:15-16:45 エコトピア指標に関与するヒトの要因  
古賀一男教授（名古屋大学エコトピア科学研究所）
- 16:45-17:15 討論
- 17:15-17:30 まとめ  
田原 譲教授（名古屋大学エコトピア科学研究所）
- 18:00～ 懇親会（会費制:3000円（学生2000円）を予定）

参加費無料

※懇親会を除く



日時 平成21年2月14日  
10:00～17:30

場所 名古屋大学 IB 電子情報  
大講義室(2F)

申込先 e-mailにて事前申込み(御名前・御所属・懇親会参加の有無)をお願い致します  
(当日受付も可 e-mail: [itohideyuki@esi.nagoya-u.ac.jp](mailto:itohideyuki@esi.nagoya-u.ac.jp) 受付担当:伊東)

主催:名古屋大学エコトピア科学研究所  
共催:日本福祉大学地域ケア研究推進センター・HIA(Health Impact Assessment)研究会